

問1 戦国時代の鉄砲の普及は、武士だけでなく農民など一般の民衆にも影響を及ぼしました。その状況を示す事例として正しいものはどれですか。（2026年 群馬公立入試 類似）

1. 農民が鉄砲を手にして自衛や組織化を行い、山城国一揆などの武装蜂起において主要な軍事力となった。
2. 鉄砲の運用には高度な修行が必要だったため、武士以外の階級が手にすることは禁じられていた。
3. 鉄砲はあくまで狩猟用の道具としてのみ農村に広まり、争いに使われることはなかった。
4. 鉄砲の製造コストが高すぎたため、農民が鉄砲を所有して一揆を起こすことは不可能だった。

問2 織田信長が安土城下などで楽市・楽座を実施した目的として、城下町の繁栄以外に当てはまる背景はどれですか。（2025年 千葉公立入試 類似）

1. 寺社や公家などの旧来の勢力が、商工業者を通じて持っていた支配力を弱めること
2. 特定の豪商に製造と販売を独占させ、そこから得られる運上金を幕府の主要な財源にすること
3. キリスト教の布教を制限するために、商人の活動範囲を城下町の一定区画内に限定すること
4. 農民が商業に没頭して農業が疎かになるのを防ぐために、商人と農民の身分を厳格に分離すること

問3 16世紀にスペイン王の援助を受けて大西洋を南下し、南アメリカ大陸の南端を通過して太平洋を横断する西回りの航海を行い、その後、船団が人類史上初めての世界一周を成し遂げたことで知られる人物は誰ですか。（2015年 大分県公立入試 類似）

1. マゼラン
2. コロンブス
3. パスコ・ダ・ガマ
4. アメリゴ・ヴェスプッチ

問4 1587年、九州平定を終えた豊臣秀吉は、キリスト教の宣教師に対して国外退去を命じる「バテレン追放令」を出しました。この政策がとられた背景と、その後の実態について述べた文として最も適切なものはどれですか。（2026年 神奈川公立入試 類似）

1. キリスト教の拡大が自身の支配の妨げになると判断して命じたため、南蛮貿易の利益は確保したかったため、実際の追放は不徹底に終わった。
2. 農民の武装を解除する政策と同時に実施され、キリスト教徒による一揆を完全に封じ込めることで、兵農分離の体制を完成させた。
3. オランダを除くすべての外国船の来航を禁止する厳格な体制を整え、宣教師だけでなく外国商人もすべて国外へ追放した。
4. 宣教師から得られる新しい技術や文化を高く評価したため、キリスト教を保護し、南蛮貿易をよりいっそう促進する目的で出された。

問5 太閤検地において、土地の生産力を表すために導入された「石高（こくだか）」の仕組みと影響について述べた文として正しいものはどれですか。（2014年 和歌山公立入試 類似）

1. 土地の面積に等級（生産性の違い）を掛け合わせて算出され、一人の耕作者が一つの土地を登録する原則が確立した。
2. 実際に収穫された米の重さを毎年計測し、その年の天候に応じて徴収する年貢の割合を変動させた。
3. 武士が戦場に連れて行く馬の数や武器の量を基準にして、それぞれの領地の価値を定めた。
4. 土地の所有権をあいまいにすることで、複数の貴族や武士が同じ土地から利益を得る荘園制を維持した。

問6 大航海時代におけるヨーロッパ諸国の動きについて述べた次の文のうち、当時の大型船の役割や航海の背景として正しいものはどれですか。（2021年 岩手県公立入試 類似）

1. スペインの支援を受けたマゼランの船隊が、南アメリカ大陸の南端を通過して西へ進み、世界一周を達成した。
2. 清（中国）との貿易赤字を解消するため、イギリスが船を用いてインドからアヘンを運ぶ貿易を組織化した。
3. 北アメリカの植民地の人々が、イギリスの茶税に対する抗議として、港に停泊していた船の茶箱を海に投げ捨てた。
4. キリスト教の聖地エルサレムを奪還するため、ヨーロッパ諸国の騎士たちが軍船を連ねて西アジアへ遠征した。

問7 桃山文化を代表する画家である狩野永徳が、城のふすまや屏風に金箔をふんだんに使った、豪華で華やかな絵を描いた背景として最も適切なものはどれか、次の説明から選びなさい。（2022年 岐阜公立入試 類似）

1. 天下統一を進める戦国大名が、自らの強大な富や権力を周囲に誇示しようとしたため
2. 禅宗の影響を強く受け、質素で控えめな美しさを追求する文化が武士の間で広まったため
3. 町人の経済力が向上し、手軽に持ち運びができる安価な美術品が求められるようになったため
4. 遣唐使が廃止されたことで、日本の風景を繊細に描く大和絵の技法が再び注目されたため

問8 15世紀末、ポルトガルの支援を受けてアフリカ大陸南端の喜望峰を回り、1498年にインド西海岸のカリカットへ到達して、東洋への海上航路を確立した人物は誰ですか。（2026年 京都府公立入試 類似）

1. パスコ・ダ・ガマ
2. クリストファー・コロンブス
3. フェルディナンド・マゼラン
4. アメリゴ・ヴェスプッチ

答え合わせ・解説

問1	答え 1 農民が鉄砲を手にして自衛や組織化を行い、山城国一揆などの武装蜂起において主要な軍事力となった。	当時の古い絵図などの資料からは、農民が鉄砲を手にとって武装し、一揆などの軍事行動に参加していた様子が描かれています。鉄砲の普及は、専門の訓練を積んだ武士以外の層でも高い殺傷能力を持つことを可能にし、社会全体の勢力図や武装のあり方に大きな変化をもたらしました。
問2	答え 1 寺社や公家などの旧来の勢力が、商工業者を通じて持っていた支配力を弱めること	当時の「座」は寺社や公家を本所（保護者）として仰いでおり、そこから上がる収益が旧勢力の資金源となっていました。信長は座を廃止し、市場を自分の直轄支配下に置くことで、これら旧勢力の経済的基盤を切り崩し、自らの統治権を確立しようとした。
問3	答え 1 マゼラン	1519年にスペインを出発したマゼラン（マガリャンイス）の船団は、南米南端の海峡を抜けて太平洋に到達しました。マゼラン自身はフィリピンで命を落としましたが、生き残った部下たちが1522年にスペインに帰還したことで、地球が丸いことが実証されました。コロンブスは西インド諸島に到達しましたが世界一周はしておらず、バスコ・ダ・ガマはアフリカ南端経由の東回り航路でインドに到達した人物です。
問4	答え 1 キリスト教の拡大が自身の支配の妨げになると判断して命じたが、南蛮貿易の利益は確保しなかったため、実際の追放は不徹底に終わった。	豊臣秀吉は、九州平定の際にキリシタン大名が宣教師に土地を寄進している実態などを知り、キリスト教の結束力が自身の全国統一や支配の障壁になると危惧しました。一方で、ポルトガルやスペインとの「南蛮貿易」によって得られる経済的・軍事的利益（鉄砲の原料である硝石の輸入や銀の輸出など）は継続したいという意向があったため、貿易を優先して宣教師の活動を黙認する形となり、この時点での追放令は徹底されませんでした。この「宗教への警戒」と「貿易の重視」という矛盾が、初期の外交政策の特徴です。
問5	答え 1 土地の面積に等級（生産性の違い）を掛け合わせて算出され、一人の耕作者が一つの土地を登録する原則が確立した。	太閤検地では、測量した面積に土地の良し悪しに応じた「等級」を掛け合わせ、予想される米の収穫量を「石高」として決めました。また、検地帳には実際に耕作している農民の名前が一人だけ登録される「一地一作人の原則」がとられました。これにより、複雑だった荘園制の権利関係が整理され、農民が年貢を納める責任者であることが明確になりました。
問6	答え 1 スペインの支援を受けたマゼランの船隊が、南アメリカ大陸の南端を通過して西へ進み、世界一周を達成した。	16世紀は、大型船の建造技術や航海術が発展した大航海時代の最盛期にあたります。マゼランの船隊による世界周航は、地球が球体であることを実証する画期的な出来事となりました。他の選択肢は、アヘン貿易が19世紀、ポストン茶会事件が18世紀、十字軍が11世紀末から13世紀の出来事であり、大航海時代の初期から中期の航海目的やスペインの活動とは異なります。
問7	答え 1 天下統一を進める戦国大名が、自らの強大な富や権力を周囲に誇示しようとしたため	安土桃山時代の文化は、天下統一を目指した武将や豪商の勢いを反映し、非常に豪華で活気に満ちているのが特徴です。狩野永徳らが描いた屏風絵やふすま絵は、壮大な城郭の内部を飾ることで、訪れる者に大名の権威を強く印象づける役割を果たしました。なお、禅宗の影響による簡素な美しさは室町文化（東山文化など）、町人による安価な美術品（浮世絵）は江戸文化、遣唐使廃止後の大和絵の発展は国風文化の特徴です。
問8	答え 1 バスコ・ダ・ガマ	1498年にポルトガルの航海者バスコ・ダ・ガマが、アフリカ大陸南端の喜望峰を經由してインドに到達しました。これにより、イスラム勢力や地中海の商人を通さず、ヨーロッパがインドと直接交易を行う道が開かれました。コロンブスはスペインの支援で西へ向かいカリブ海へ、マゼランの船団は世界周航を成し遂げたことで知られています。